

## モロッコ政治月報(10月)

2014年11月28日  
在モロッコ大使館

10月のモロッコの政治情勢等を当地報道を中心にとりまとめたところ、以下のとおりです。要人往来については末尾に一覧表を付しました。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

### 【主な出来事】

#### ◎国会秋会期の開会(10月10日)

#### <内政・政局>

##### 1 国会秋会期の開会

(1) 10月第2金曜である10日、国会秋会期開会にあたり、モハメッド6世国王が演説を行った。

(2) 演説の中で国王は、一部の政治家が自身や所属政党の利害にとらわれているため、市民が求める民主化が達成されていないと言及。また、国土の一体性の保持に国会議員が果たした役割を賞賛しつつ、引き続き努力することを指示。

#### <外交・国際関係>

##### 2 第9回アフリカ開発フォーラムの開催

(1) 12日から16日まで、マラケシュで第9回アフリカ開発フォーラムが開催された。

(2) 同フォーラムが、主催者である国連アフリカ経済委員会(UNECA)本部の所在地(アディス・アベバ)以外で開催されるのは初めて。

(3) 今次フォーラムはアフリカ変容のための革新的資金調達をテーマとし、モハメッド6世国王はベンキラン首相代読によるメッセージの中で、アフリカには条件付きの援助よりもwin-win 関係のパートナーシップが必要と述べた。

##### 3 サル・セネガル大統領、ウワタラ・コートジボワール大統領のモロッコ訪問

(1) モハメッド6世国王はラバト王宮で、13日にサル・セネガル大統領と、14日にウワタラ・コートジボワール大統領と会談した。

(2) 両大統領は、第9回アフリカ開発フォーラムの機会にモロッコを訪問。

(3) いずれの会談でも、モロッコ側はメズアール外務・協力大臣が同席。

#### 4 モロッコ・アルジェリア国境における発砲・負傷事件

(1) 18日、モロッコ政府は、アルジェリア軍の発砲により、国境付近でモロッコ市民1名が負傷したと発表し、アルジェリアを批判した。

(2) アルジェリア外務省はモロッコ側が事実を歪めていると批判し、実際にはモロッコ人密輸業者の一団がアルジェリア国境警備隊に投石したため、国境警備隊が空中への威嚇発砲で応えたとしている。

#### 5 モロッコ人ジハードистの逮捕

(1) 15日、ISIL に参加することを目的にトルコに向けて出発しようとしていたフランス在住のモロッコ人がカサブランカ・モハメッド5世空港で逮捕されたと内務省が発表。

(2) 同人は、2014年8月にモロッコ北部で解体された、シリアやイラクに戦闘員を送っていたテロ組織や、ISIL とも関係があるとされる。

#### <モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
10月14日	フランス	ララ・メリエム王女	アラブ世界研究所、ルーブル博物館でのモロッコに関する展示会開会式
10月22日	英国	ブーサイド経済・財政大臣	対モロッコ投資セミナー出席
10月22日	スペイン	ハンムーシ国土監視総局長他	スペイン勲章受章
10月23日	モーリタニア	メズアール外務・協力大臣	アブドゥラジズ大統領表敬
10月28日	ベルギー	ララ・メリエム王女	第一次世界大戦開戦100年式典

#### <外国要人のモロッコ訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
10月12日～	コートジボワール	ウワタラ大統領	第9回アフリカ開発フォーラム出席
10月13日～	セネガル	サル大統領	第9回アフリカ開発フォーラム出席

(了)